

2025.
 1/18^{sat.} ⇒ 3/30^{sun.}

南桂子展

2025年ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 春のコレクション展

小さな雲



1. 《山の村》1989年 エッチング 29.9×28.2(cm)

ごあいさつ

近年、静かに人気が広がっている銅版画家・南桂子（1911—2004）の展覧会を開催します。

南の作品の中には、見おとしてしまいそうな雲や舟や鳥が静かに佇んでいます。どの絵にも同じかたちは一つもなく、それぞれが作品世界をつくる大切な要素です。ひとつひとつの小さなモチーフが、満ち足りた空間で永遠に過ごしています。ぽつんと浮かぶ雲は、見知らぬ国を颯爽と旅するようにも、そこに留まりじっと何かを待っているようにも見えます。自由や孤独一雲の見え方は人によって違うかもしれません。どこまでも広がる澄んだ空に想像力をのせてご鑑賞ください。

南作品は銅版画を中心に、リトグラフや油彩も交えて約50点、浜口陽三約10点の構成です。

会 期 2025年1月18日（土）～ 3月30日（日）

休 館 日 月曜日（2月24日は開館、翌火曜日休館）

展 覧 会 名 2025年ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 春のコレクション展
南桂子銅版画展 一小さな雲

開 館 時 間 平日11:00～17:00／土日祝10:00～／最終入館16:30

ナイトミュージアム 第1・第3金曜日20:00まで開館（2/7、2/21、3/7、3/21）

入 館 料 大人600円、大学生・高校生400円、中学生以下無料

主催・会場 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7

Tel: 03-3665-0251 E-mail: musee@yamasa.com

アクセス: 東京外口半蔵門線 [水天宮前] 3番出口そば

東京外口日比谷線 [人形町] A2出口徒歩8分

HP: <https://www.yamasa.com/musee/>

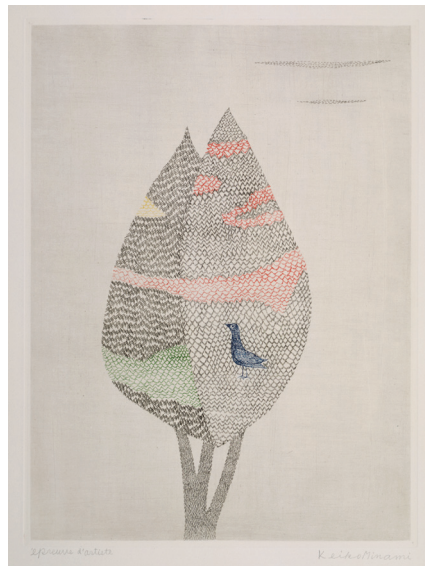


南桂子 Keiko Minami (1991 - 2007)

1911年富山県生まれ。高等女学校時代から油彩画や詩をたしなみ、戦後は自由美術家協会などに油彩画を発表していましたが、のちに世界的な銅版画家となる浜口陽三と出会い、銅版画の面白さを知ります。

1953年フランスに渡り、パリのフリードランデル版画研究所で学んだあと、少女・鳥・お城などをモチーフにした詩的な銅版画を作り続けました。作品は、ユニセフのカードに採用されたり、帝国ホテルの全室を飾るなど、世界中の人々に愛されてきました。

2. 《街の門》1967年
 エッチング、ドライポイント、
 サンドペーパー 33.8×28.2(cm)



左から

3. 《花のある木》1959年
 エッチング、サンドペーパー 37.8×27.9(cm)
4. 《少女と木》1965年
 エッチング、サンドペーパー 36.8×28.2(cm)

イベントは2つ予定しています。詳細は決まり次第、ホームページに掲載致します。

★展覧会協力のお知らせ

こしのくにぶんがくかん
 高志の国文学館

「没後20年 詩と出会う旅 南桂子の世界展」

2024年12月7日(土)～2025年2月11日(火・祝)

高志の国文学館は、富山県ゆかりの作家や作品の魅力を幅広く発信し、気軽に「ふるさと文学」に親しみ学ぶことができる文学の博物館です。 <https://www.koshibun.jp/>

〈プレスリリース問合せ先〉 担当：高橋まで

メール musee@yamasa.com

TEL 03-3665-0251

FAX 03-3665-0257